

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日: 令和5年11月24日

事業所名: 放課後等デイサービスみつほ サービス種類: (例: 児童発達支援・放課後等デイサービス)

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	元のスペースは広げられないため、必要最小限の配置以外は確保している	・はい 12名 ・どちらともいえない 1名 ・無回収 5名(後日3名回収) 意見 人数が多いと狭そう	集団活動の場合を除き各訓練室を使い、できるだけ広いスペースを確保する
	2 職員の適切な配置	出来ている。 人数に応じて職員の配置はしている。	・はい 13名 ・無回収 5名(後日3名回収)	継続して行う
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	わかりやすい構造やバリアフリーになっていて、情報伝達も視覚支援によりわかりやすい環境になっているが、玄関先などの段差解消されていない。	・はい 12名 ・いいえ 1名 ・無回収 5名(後日3名回収)	玄関先の段差や視覚支援で分かりやすくしているがカードが小さいため大きめなどできる範囲を整備していく
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	子どもたちと一緒に清掃、消毒は行っています 子どもたちが常に自分のスペースを持てるようにしている。	・はい 12名 ・わからない 1名 ・無回収 5名(後日3名回収)	清潔にはしているが、見た目で経年劣化している部分は清潔には見えないため補修などを行う
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	個別支援計画をもとに職員間で目標に対しての振り返りのミーティングを行っている		PDCAサイクルを活用し、月単位で目標に到達のめどなどの振り返りを行う
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	第三者の外部評価は行っていないが、民生委員・地域住民の方が来やすい環境にしている		関係機関など多職種の来訪者から高評価を頂いている
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	外部に出向いての研修は多くはないが行っている。研修に参加した職員から情報を伝達する内部研修は行っている		オンラインや外部の事業所が発信している動画を見て職員間で研修会を行う
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	最初にたてた計画をもとにアセスメントを行い分析をし保護者や利用児童に合わせた個別支援計画を作成している		保護者からの依頼変更などなければ現行継続を行う
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	子どもの状況に合わせてできることを伸ばし、できないところは工夫を加え継続して行える計画を立てている	・はい 13名 ・無回収 5名(後日回収3名) 意見 丁寧な計画になっていると思います	保護者からの依頼変更などなければ現行継続を行う
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	利用児童一人ひとりに沿った必要な支援内容になっている		保護者からの依頼変更などなければ現行継続を行う

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	職員間で話し合いをして、その計画に沿って同じ内容で支援を行っている。	・はい 12名 ・無記入 1名 ・無回収 5名(後日回収3名) 意見 何かあれば対応して関わっていただけてると思います	保護者からの依頼変更などなければ現行継続を行う
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	個々の特性に応じたプログラムを職員ミーティング等で立案している。		ミーティング時に月活動をチーム全体で立案しているため継続して行う
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日は一人ひとりの時間が短い中で課題等に必要の訓練を行っている。 休日、長期休暇においては個別と集団訓練及び課題等に取り組んでいる。	・はい 12名 ・どちらともいえない 1名 ・無回収 5名(後日回収3名)	平日と長期休暇などで、子どもたちの気持ちも違うため対応時には気持ちを優先した支援を行う
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	毎月、職員全体ミーティングで意見等出し合い話し合いをしている		名目の活動は変ず、内容を変え固定化しない取り組みをする
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	支援が始まる前に申し送りをし当日担当の職員の役割を確認している		継続して行う
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	地域エリアにより当日の振り返りが困難なため翌日に申し送りをしている。気づいた点などの情報交換はグループで共有している		継続して行う
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	記録の記載漏れがないかなど確認を行い検証改善は継続して実施している。		継続して行う
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	モニタリングを定期的に行い個別支援計画の見直しや継続支援を行っている。		モニタリングは定期的に行っており、見直し箇所がある場合には見直しを行っている

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	以前はコロナ感染拡大を防止のため支援会議を行う機会が少なかったが、第5類になり少しずつ必要な児童に対して担当者会議を行っている		相談支援員との連携やサービス会議など積極的に参加させる
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	対象事業所ではない。		対象事業所ではない。
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	対象事業所ではない。		対象事業所ではない。
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	特別支援学校との情報共有はしっかりとできているが、小学校や認定こども園などの情報共有に関しては、理解が難しく共有ができない		就学前の情報に関しては、保護者の同意があった場合を除いては行っていない
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	学校を卒業後、保護者に事業での利用情報をお渡しして保護者から支援内容を障害福祉サービス事業所に提出してもらっている		個人情報になるため、当事業所から福祉サービスに情報提供は行っていないが、保護者からの希望がある場合には情報提供は行う
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	児童発達支援センター等との専門機関と連携は行っているが研修などはZOOM会議等を受講している		専門機関からの研修案内はできる限り受講できるように調整をする
	7	児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	放課後児童クラブの担当者に会う機会がなく交流は現段階ではできていない	・はい 4名 ・どちらともいえない 3名 ・いいえ 1名 ・わからない 5名	次年度に向け、認定こども園、放課後児童クラブへの声掛けを行う
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	以前まで、新型コロナウイルス感染を広げないために地域住民に対しての行事案内は行っていないため、今の現状として行っていない	項目なし	児童にとって面識がない人への影響を考慮して動けなくなることもあるため、鑑みて検討していく

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に支援の内容と利用者負担等について説明を行っている	・はい 12名 ・どちらともいえない 1名 ・無回収 5名(後日回収3名)	個別支援計画に支援内容、利用者負担については、契約時に説明済み、わからない時には都度説明を行う
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	個別支援の内容やモニタリング結果について書面を提示しながら説明を行っている	・はい 13名 ・無回収 5名(後日回収3名)	モニタリング結果など書面にて記載し誰が見てもわかりやすい内容にして説明を行う
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	保護者にはペアレントトレーニングは行っているが、周知があいまいに伝わっている可能性がある	・はい 10名 ・どちらともいえない 1名 ・わからない 2名 ・無回収 5名(後日回収3名)	トレーニング内容を簡潔に伝わりやすい支援を行っていく
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	発達に関しての状況を連絡を取りながら情報は伝えている	・はい 13名 ・無回収 5名(後日回収3名)	成長している部分や苦手としている部分を共有しながら、苦手な課題については保護者に協力をお願いして支援を行う
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	成長に伴い悩みが増えての相談は事業所内であったり家庭連携で悩みについての助言を行っている	・はい 13名 ・無回収 5名(後日回収3名)	まだまだ保護者の方で悩んでいるが相談に結び付けられない方も多いと思うので声掛けを行う
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	父母会について中々発足が難しい状況を今年度より、事業所から参加を呼びかけ窓口を広げ、保護者会については年一回行っている	・はい 12名 ・無回答 1名 ・無回収 5名(後日回収3名)	今年度から父母会を開催しているが少人数のため、場所の提供や呼びかけなどを行っていく
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情にたいしては、些細な案件にしても説明を行えるだけ早い対応を心掛けている	・はい 10名 ・わからない 2名 ・無回答 1名 ・無回収 5名(後日回収3名)	苦情内容に関しての公表をはいしません 苦情にならない対策を検討していく
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	子ども一人一人情報伝達の違いがあるため、個々に伝わりやすい対応をしている	・はい 11名 ・わからない 1名 ・無回答 1名 ・無回収 5名(後日回収3名)	子どもや保護者からの情報を検討し配慮をもって伝えていく
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	行事予定表や、毎月の活動内容を発行(事業所新聞)している 保護者等の緊急な連絡は24時間体制で送受信を行っている	・はい 12名 ・無回答 1名 ・無回収 5名(後日回収3名)	LINEや月間新聞などで活動内容などの情報を行っているため継続して行う
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	事業所内で利用者の個人情報を外部に漏らさないよう情報共有時に説明している	・はい 12名 ・無回答 1名 ・無回収 5名(後日回収3名)	対応に対しては十分な対応をしているが、地域柄を理解し今以上に取り扱いの説明を行う

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	マニュアルの策定はしているが、保護者周知に関しては徹底できていない	・はい 11名 ・わからない 1名 ・無回答 1名 ・無回収 5名(後日回収3名)	早急に簡易マニュアルを作成し配布する 配布簡易マニュアルを玄関掲示板に提示する
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年に数回避難(防災・地震・津波)訓練を定期的に行っている	・はい 11名 ・わからない 1名 ・無回答 1名 ・無回収 5名(後日回収3名)	訓練は継続して行う
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	年間事業所内研修にて、全国の虐待事例をもとに職員間で検証を行っている		年間事業所研修は継続して行う 研修報告書に関して改善をしていく
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	当事業所に身体拘束を行う対象児童がいないため計画に対する記載なし 身体拘束における情報に関しては、契約時に保護者には説明済 やむなく行う場合は説明を十分行い同意書にサインをしてもらう		今後、身体拘束をやむを得ず行わなければならないことを想定して、拘束に係る研修を行っていく
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	保護者からの情報のみのためアレルギーには十分注意をしながら対応している		どうしても偏食に対しては、医師の指示書を提出してもらうよう声掛けを行う
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハットの事例集は共有し、小さなヒヤリハットで事故につながらないようにしているが、記載を忘れてしまうことがある		大きな事故につながる前の小さなヒヤリハットの意識を持つようにプチヒヤリから共有するよう記載項目を徹底する